

サロベツ^{だけで}繁殖する鳥 シマアオジ・ミコアイサ ～シマアオジ・ミコアイサ報告会～



シマアオジ



ミコアイサ母子 富士元寿彦 撮影

シマアオジは中国における密猟などが原因で、現在日本ではサロベツのごく一部にしか見られない絶滅危惧種です。ミコアイサは冬鳥や渡り鳥として全国各地で生息しますが、繁殖地はサロベツの海岸砂丘林だけです。海岸砂丘林の一部は農業開発や砂の採取などにより失われ、沼が干上がったたり、水位が低下してきました。ミコアイサの繁殖地は消滅の危機に瀕していますが、近年調査が行われておらず、実態がわからないため、絶滅危惧種に指定されていません。サロベツの象徴的な鳥と言えるこれらの2種を守るために、私たちは何をすべきか考えます。

講演 ・写真と映像で見るサロベツのシマアオジとミコアイサ
富士元寿彦 (動物写真家)

・シマアオジとミコアイサをサロベツに残すために
長谷部真 (NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク)

対談 ・サロベツのシマアオジとミコアイサの保全に向けて
コーディネーター 有山義昭 (稚内自然保護官事務所首席自然保護官)
対談者: 富士元寿彦 長谷部真

と き: 2018年11月17日(土) 13:30-15:30

ところ: サロベツ湿原センター

開場 13:00

天塩郡豊富町上サロベツ8662 (道道444号線沿い)

申込・参加費不要

主催・問い合わせ: NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク

協力: 環境省稚内自然保護官事務所 (公財)日本野鳥の会 日本野鳥の会道北支部

0162-82-3950 メール hasebe@sarobetsu.or.jp 担当 長谷部